

港の風

vol. 52

2023.4.10

神戸港からのたより

PORT OF KOBE



港の風

神戸からのたより

Vol. 52

2023.4.10

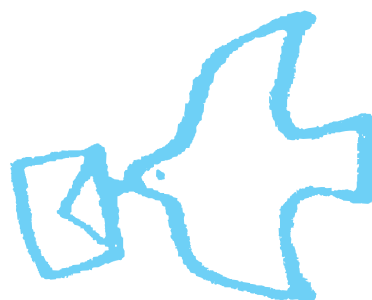
CONTENTS

- 01 はるかが行く 神戸みなとさんぽ 01
「絶賛改修工事中！ ポートタワー 編」
- 02 特集01
令和5年の神戸港
国際競争力の強化と持続発展するまちづくり
～本年度神戸市港湾局主要施策より～
- 08 特集02
“みなと”におけるSDGsの取り組み
兵庫県港運協会より
商船港運株式会社 代表取締役社長 実 謙二 氏
- 10 船インフォメーション
- 14 港で働く人
株式会社大森廻漕店 阪神支店 通関部所属
阿部 紗歩さん
神戸ベイクルーズ株式会社 海務部所属
高井 頌平さん
- 15 神戸空港NEWS
- 16 神戸海洋博物館・カワサキワールドだより
- 18 港まちにある風景03
神戸港の灯台
- 20 神戸港貿易統計データ
神戸税関こぼれ話



撮影 神戸観光局観光部 松村耕一

ポートターミナルに停泊する「DIAMOND PRINCESS」
(総トン数115,906トン)



「港の風～神戸港からのたより」

編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号
電話：078 (327) 8981 FAX：078 (332) 4739
<http://kobe-meriken.or.jp>
発行日 令和5年4月10日

表紙：2019年8月12日以来の神戸港入港となった「DIAMOND PRINCESS」 撮影 神戸観光局観光部 松村耕一



はるかが行く



神戸みなとさんぽ

01

絶賛改修工事中！ポートタワー編

このコーナーでは、神戸観光局港湾振興部の新人であり、「神戸港初心者」の私が、日々仕事をする中で気になった物事取材してお届けしていきます。初回である今回は、絶賛工事中のポートタワー取材してまいりました。ポートタワーの今とこれからをお伝えします！

ポートタワーはどこだ？



現在のタワー

外から見た現在のポートタワーはこんな感じ。白いシートにすっぽり覆われて、その姿は全く見えなくなっています。てっぺんにはクレーンが！いつも何かを運んでいます。近づくと、シートの中から工事音が聞こえてきます…

ポートタワーは生まれ変わります。



リニューアル後

現在ポートタワーはリニューアル工事中！主に耐震化の工事が行われています。その他にも4階に屋上テラスができたり、タワーのてっぺんに空中歩廊ができたりする予定。完成の日がとても楽しみです！

ポートタワーが見れなくて寂しい…
ということで、久しぶり！ポートタワー！

1 入ると最初に見えたのは受付。これは工事開始前と変わらない位置にありました。



2 工専用エレベーターに乗って、いざ屋上へ！



3 下から見ていたクレーンがこんなに近くにあります！



4 空中歩廊になる予定の場所。景色がとても綺麗です。



5 久しぶりに見るこの赤色。ポートタワーだ！

工事中のポートタワーは、静かにリニューアルの日を待っているようでした。地震に強く、より楽しいポートタワーに生まれ変わるまでもうしばらく。その日が待ちきれません！



神戸市港湾局工務課 門内さんに聞きました！



- は** いっごろ完成予定？
- も** 2024年春頃を予定しています。
- は** 工事の大変なところはどこ？
- も** なんといってもタワーの曲線美、これは施工者泣かせですね。改修工事ということもあり、各部の実測、作図が大変です。
- は** 4月は何の工事を予定？
- も** ポートタワーくびれ部分に沿って縦にオイルダンパー（制振装置）を設置する工事をしています。
- は** 完成を待つ皆さんにひと言お願いします。
- も** ポートタワーは今年60周年を迎えます。赤い姿で皆様と還暦のお祝いができる日まで、もう少しお待ちください。リニューアル後もポートタワーが愛され続けるよう、改修工事頑張ります！地上100mの空中歩廊もご期待ください。

は はるか **も** 門内さん

今のタワーを楽しもう！

ポートタワーの近くにある美味しいところ

神戸の観光スポット mosaicにあるカフェ。お店に足を踏み入れた瞬間、大きな窓から見える神戸の海に心が躍りました。海側の席に座ればポートタワーを眺めながらの小休憩も可能。神戸土産としても有名な壺プリンはとろける美味しさです。



フランツカフェ
中央区東川崎町 1-6-1 umie モザイク 3F
TEL078-360-0107



国際競争力の強化と 持続発展するまちづくり

～本年度神戸市港湾局主要施策より～

1

神戸港における 最近の取り組み

世界的に感染拡大した新型コロナウイルスによる港湾物流への影響や、ロシアのウクライナ侵略を契機とした世界的な物価高や円安の進行など、世界経済の先行きが不透明な中、港湾物流を取り巻く環境も予断を許さない状況にあります。神戸港の港勢は、コロナ前と同程度まで回復傾向にある状況です。

昨今、急速に変化する社会経済情勢を踏まえ、神戸港では、概ね10年間に取り組むべき内容や方向性を示す「神戸港中期計画」と「神戸ウォーターフロントビジョン」を2022年12月に策定しました。また、2023年2月には、港湾における2050年カーボンニュートラル実現に向けた基本的な方向性を示す「神戸港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」を策定するなど、「港湾・産業」「にぎわい・都市」「環境」の各分野で神戸港の競争力強化に取り組んでいるところです。

神戸港中期計画

「神戸港中期計画」は、神戸開港150年の節目を機に、2017年に策定した「神戸港将来構想」（30年構想）に掲げる目指すべき姿を見据えつつ、近年の社会経済情勢も踏まえ、概ね10年間（2030年代前半）に取り組むべき内容や方針を示すものとして策定しました。

同計画では、将来構想と同様に、港湾物流等を主体とする「港湾・産業」分野と、ウォーターフロント再開発等を主体とする「にぎわい・都市」分野で主要施策を掲げ、それぞれ「グローバルサプライチェーンの中で、世界から選ばれ続ける総合物流港」と「非日常の空間を提供し、国内外からの来訪者を魅了するみなど」の実現を目指しています。

神戸ウォーターフロントビジョン

都心・ウォーターフロントエリアの再開発は、「『港都 神戸』グランドデザイン」（2011年策定）に基づき進めているところですが、策定から10年が経過し、新港突堤西地区の再開発の進展や神戸空港の国際化など、社会情勢が大きく変化している中、今後10年間で取り組むべき施策の方向性を示すものとして「神戸ウォーターフロントビジョン」を策定しました。

同ビジョンでは、新港突堤西地区、中突堤周辺地区、京橋地区のエリア毎にコンセプトを定め、「緑あふれる新たな『海辺』まちの創出」を全体コンセプトとして掲げています。

カーボンニュートラルポート

2022年3月に国土交通省において「CNPの形成に向けた施策の方向性」と「CNP形成計画策定マニュアル」が策定されたことを受け、昨年度、神戸市が事務局となり、学識経験者や民間事業者、関係団体で構成する「神戸港CNP協議会」による議論を重ね、2023年2月に「神戸港CNP形成計画」を策定しました。

同計画では、神戸港の独自性を示した3つの“C”【Challenge(挑戦)、Collaboration(協力・連携)、Community(共同体)】をコンセプトとし、他港に先駆けて、GHG排出実質ゼロを目指すとともに、水素等の次世代エネルギーの供給インフラを整えることで、港湾としての競争力強化を図り、ひいては気候変動問題に貢献していくことを方針として掲げています。

海外諸港と連携した取り組みでは、2022年10月に、脱炭素化の先進港である米国ロングビーチ港と港湾の脱炭素化に向けた連携協定(MOU)を締結しました。また、2022年11月には、港湾におけるクリーン水素の供給と需要拡大を目指す「CEM グローバル港湾水素連合」に日本の港湾で初めて加入しました。

神戸空港の国際化

神戸空港は、2025年に国内線の発着回数を1日あたり最大80回から120回に拡大するとともに、国際チャーター便の運用を開始し、2030年前後には1日あたり最大40回の国際定期便の運用を可能とすることが2022年9月の関西3空港懇談会で合意されました。

新たなステージに進む神戸空港が、神戸経済の成長を担う観点から果たす役割は大きく、2025年大阪・関西万博、その先の航空需要の拡大を見据え、神戸空港の価値を向上させ、将来の神戸のまちの成長・発展につながる取り組みを進めています。

2

令和5年度 港湾局予算概算

令和5年度の主な取り組み

神戸市の令和5年(2023)度当初予算は、「海と山が育むグローバル貢献都市の実現」を掲げ、神戸空港の国際化やポストコロナを見据え「さらなる高み」を目指すこととしています。港湾局では、港湾物流分野において、日本の港湾物流を支える西日本のゲートポートとして、引き続き、国際コンテナ戦略港湾施策を推進するとともに、港湾における脱炭素化に向け、カーボンニュートラルポート(CNP)の形成に取り組めます。

賑わい創出分野では、新港突堤西地区及び中突堤周辺地区を中心にウォーターフロント再開発を進めるほか、六甲アイランドのマリンパーク再整備やポートアイランド(第2期)西緑地の整備等にも着手します。また、須磨海岸エリアでは、引き続き海上航路の実証運航や西エリアも含めた回遊性・利便性向上に向けた検討・整備等に取り組めます。

安全・安心なみなどづくりでは、平成30年の大型台風による高潮被害に対する再度災害防止に向け、引き続きハード対策を進めるほか、陸間等の遠隔操作化などを進めていきます。

次に、令和5年(2023)度における港湾局の各主要施策について、詳しくご紹介します。

国際コンテナ戦略港湾

「集貨」施策では、内航フィーダーを活用した瀬戸内・九州・日本海からの集貨や東南アジア・北米間をはじめとする神戸港でのトランシップ貨物の集貨に取り組み、基幹航路の多方面・多頻度化など航路網の充実を図ります。

また、総合港として神戸港の高い港湾技術力を発信しながら、コンテナ貨物に加え、在来貨物の集貨・航路誘致を積極的に進め、様々な貨物に対応できる神戸港のさらなる利便性向上に取り組むほか、脱炭素など環境に配慮した集貨の取り組みを進めます。

「競争力強化」では、高規格コンテナターミナルの

整備に加え、大阪湾岸道路西伸部の事業促進や阪神港COMPAS導入などによる港湾物流の円滑化を図ることで、神戸港の生産性向上を図り、国際競争力を強化します。



大型コンテナ船着岸の様子

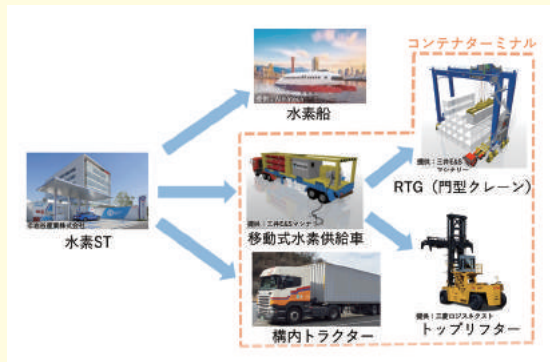
カーボンニュートラル(CNP)の形成

港湾法の一部改正に伴い、「神戸港 CNP 形成計画」を「港湾脱炭素化推進計画」へ移行するほか、具体的な取り組みでは、現在工事を進めている停泊船舶への陸電供給設備が、2023年秋頃に供用開始を予定しています。また、港湾施設（上屋等）を対象とした再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入検討も行っています。

コンテナターミナルを中心とした港湾エリアの脱炭素化の取り組みでは、港湾荷役機械（RTG、構内トラクター等）や船舶への水素供給方法などに關し、先進的な取組みを検討する民間事業者に対し、実証フィールドの提供とともに、実証事業などへの支援を進めます。

海外連携では、連携協定（MOU）を締結したロングビーチ港などの海外先進港とともに、港湾の脱炭素化に向け連携して検討を進めていきます。

CO₂吸収源の取り組みでは、ブルーカーボン生態系の更なる活用を進めるため、藻場等のモニタリング調査を実施するほか、Jブルークレジットにより得られた資金を活用し、民間事業者等のブルーカーボンの保全・創出活動に対する支援なども行っていく予定です。



港湾エリアにおける水素供給の実証イメージ



神戸港のCNP形成のイメージ

ウォーターフロントの魅力向上

新港突堤西地区では、第1突堤基部に続き、第2突堤の大規模多目的アリーナが2025年4月の開業を目指して進んでいるほか、第1・第2突堤間の水域活用に向けて防波堤や親水エリアの整備を行うとともに、次期再開発エリアの事業化に向けた取り組みを進めます。

中突堤周辺地区では、2024年春のリニューアルオープンを予定している神戸ポートタワーの工事を進めるとともに、中突堤中央ビル再整備の具現化を進め、観光・エンタランスエリアとしての機能強化を図ります。

これらの再開発に加え、ハーバーランド～中突堤～新港突堤西地区を有機的につなぎウォーターフロントエリアの回遊性を高めるため、京橋地区において、阪神高速3号神戸線の大規模更新事業に合わせた高架道路周辺の利活用に向けた取り組みを進めます。

また、夜間景観の魅力向上を図るため、照明の整備やウォーターフロントエリアを楽しむことができる光の演出の検討を行います。



新港第1・2突堤間の水域活用イメージ



神戸ポートタワー 完成予想図

市民に親しまれるみなとづくり

ウォーターフロントエリアにおけるナイトタイムエコノミーを推進するため、分散型花火・イルミネーションによる夜間景観形成など、新たな賑わいづくりを周辺の事業者と連携して取り組みます。

海事分野の人材育成については、神戸海洋博物館における企画展などの取り組みに加え、青少年が海・船・港に親しみ港湾産業の重要性を学ぶ機会づくりとして、神戸港バックヤードツアー、みなとの学習会の開催を通じて、学校教育・海技教育機構・遊覧船など港湾関係事業者と連携した取り組みを進めていきます。

また、六甲アイランドでは、マリンパークの利便性や魅力向上のため、背後地の賑わい施設整備に併せて、海釣り広場や親水空間を中心とした再整備を進

めるとともに、ポートアイランド(第2期)西緑地では、利活用を促進するため、未供用区間の整備や親水エリアの導入に向けた検討を行います。



冬のイルミネーション「メヤメヤ」

クルーズ・フェリー受入れによる地域活性化

2023年3月から、3年ぶりに外国船によるクルーズが再開しました。国際クルーズの再開による寄港需要を捉え、港と空港が近い地理的優位性を活かしたフライ&クルーズを推進するとともに、プレミアム・ラグジュアリー船による瀬戸内クルーズをはじめとする神戸発着クルーズの誘致や誘客促進に取り組むことにより、広域からの交流人口の拡大を図ります。

また、内航フェリーの活性化を図るため、フェリーによる船旅の魅力のPRや利用促進に取り組めます。



神戸港発着クルーズイメージ

須磨海岸エリアの魅力向上

須磨海岸に隣接する須磨海浜水族園・海浜公園では、2024年の供用に向けた再整備が進む中、須磨エリア一帯の魅力的で賑わいある空間づくりに取り組めます。

回遊性・利便性向上に向けた取り組みでは、JR須磨駅から海づり公園に至る西エリアの導線検討を行うほか、須磨ヨットハーバー周辺の歩行者動線の改修を行います。

新たな賑わいづくりに向けた取り組みでは、昨年度に引き続き、サイクルツーリズムと連携した海上航路実証実験(スマアワ)を拡充のうえ実施するほか、四季を通じた賑わいづくりに向け、様々なビーチスポーツイベントを開催します。



須磨海浜水族園・海浜公園再整備イメージ

神戸空港の機能強化

2025年の国際チャーター便の運用開始・国内線発着枠拡大に向け、空港基本施設やサブターミナルの整備など、神戸の空の玄関口にふさわしい施設整備を行います。また、神戸空港の需要拡大、2030年前後の国際定期便就航に向け、広域ネットワーク機能の調査・検討を進め、神戸以西の新たな市場開拓などに取り組みます。

カーボンニュートラルエアポート形成に向けた取り組みでは、合成メタンやSAF（持続可能な航空燃料）の導入検討などの取り組みを進めます。

また、神戸空港の国際化・発着枠拡大を踏まえ、神戸空港島の戦略的な利活用を図るため、ウォーターフロント再開発などのプロジェクトとの連携を踏まえた

土地利用のあり方を検討し、神戸空港島の将来ビジョンを策定するとともに、神戸空港と海上アクセスターミナル間のアクセス向上のため、南北の新たな動線としての歩行者デッキ整備に向けた検討を行います。



サブターミナル整備イメージ

安全・安心なみなとづくり

発災後、短時間で到達する津波に対し、防潮鉄扉等を迅速・確実に閉鎖するとともに、閉鎖従事者のさらなる安全確保を目的に、防潮鉄扉等の遠隔操作化に順次取り組んでおり、2024年度末には、神戸港全域の遠隔操作化の完了を目指しています。

2018年の大型台風による高潮被害を受け進めている、再度災害防止対策では、ポートアイランドにおいて、排水ポンプ整備や道路の高上げなどによる緊急輸送路の浸水対策に取り組むほか、六甲アイラン

ドにおいても引き続き荷捌き地や背後道路の地盤高上げを進めます。



六甲アイランド高上げ工事の様子

3

おわりに

神戸市では、神戸空港の国際化への対応やSDGs、ポスト・コロナの視点を取り入れた未来に輝くまちづくりなどを進め、国際都市としての新たなステージと歩みを進めています。

神戸港においても、「神戸港中期計画」や「神戸ウォーターフロントビジョン」に掲げる方向性に基づき、令和5年（2023年）度予算で取り組む施策を着実に推進し、「港湾・産業」「にぎわい・都市」の両面から、国際競争力強化と持続発展するまちづくりに貢献してまいります。

“みなと”におけるSDGsの取り組み



国内外の多くの企業が取り組んでいる SDGs。国土交通省が、『みなと SDGs パートナー登録制度』を開始したことにより、港にも SDGs の波が訪れています。「よく聞けれど、結局 SDGs って何？」この波に乗り遅れないように、わかりやすく解説します。

今さら聞けない SDGsとは？

「SDGs (=持続可能な開発目標)」は、国連で採択された2016年から2030年までの国際目標です。紛争・気候変動・感染症。様々な課題に直面する人類が、地球上で持続的に活動続けるために達成すべき目標が定められています。

17のゴール(2030年のあるべき姿)と169のターゲット(具体的な目標)を定めているSDGs。この17のゴールは、大きく「社会」「経済」「環境」の3つに分類され、それぞれの観点から、社会課題にアプローチしています。全世界で一体となつての目標達成を目指しており、世界中の企業がSDGs達成に向けた自社の取り組みを発信しています。



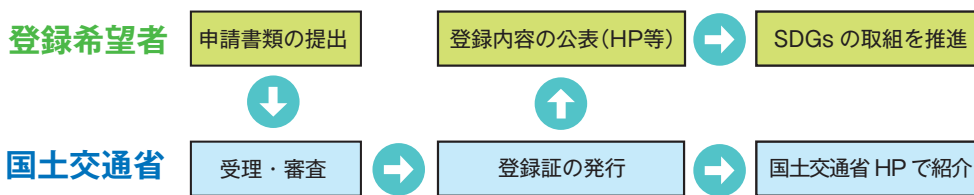
港湾関連企業等で取り組む“みなとSDGs”！

国土交通省は令和4年度より、みなとSDGsパートナー登録制度を開始しました。世界的なSDGs達成に向けた取り組み推進が起こる中で、港湾関連企業のSDGsへのより積極的な取り組みを目指しています。自社とSDGsにはどんな関連があるのか、「気づき」を得る機会となるのが期待されており、日本港湾及び港湾関係産業の魅力向上と将来にわたる持続的な発展を目的として創設されました。



SDGsが国連で採択されてから5年。今や世界中の企業がSDGs達成に向けた取り組みを行っており、SDGsに取り組むことが企業ステータスに直結すると言っても過言ではありません。とはいえ何から取り組めば良いのが難しいSDGs。みなとSDGsでは、申請作業を通して、自社の事業とSDGsの関連に気づくことができます。SDGsへの入り口として活用できる制度です。

みなとSDGs パートナー登録制度手続きの流れ



申請書類の提出

(書類は国土交通省HPでダウンロード→申請書類に記入→メールで提出)

- 申請書
- 具体的な取り組み
- 誓約書
- HP内か社内案内上にSDGsに対する取り組みに関する記載

提示項目と自社事業と照らし合わせ、具体的な取り組みを書きだしていく。(記入することが気づきに繋がる重要な書類)

評価項目

経済

全ての人間が豊かで充実した生活を送れるようにするとともに、自然と調和した経済、社会および技術の進展を確保する。

環境

持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応など通じ、地球を劣化から守ることにより、現代と将来の世代のニーズを充足できるようにする。

社会

あらゆる形態と次元の貧困と飢餓に終止符を打つとともに、すべての人間が尊厳を持ち、平等に、かつ健全な環境の下でその潜在能力を発揮できるようにする。

意外とある!? 我が社のSDGs

「自分の会社とSDGsには何の関連もないのではないか」そんなことはありません。普段行っている些細なこともSDGs達成に向けた立派な活動になり得ます。例えば、職場でのタンブラーの活用やLED照明の利用も立派な取り組み！改めて周りを見渡すと、SDGs達成への取り組みがまだまだ隠れているかもしれません。

日本港運協会では、2021年10月より、ESG・SDGs対策委員会を開催。SDGsに対する港運事業者の取り組みについての話し合いを重ねています。同委員会に兵庫委員として参加されている、商船港運株式会社 代表取締役社長 実謙二氏にお話を伺いました。



商船港運株式会社
代表取締役社長
実 謙二 氏

まず大前提として、企業というものは社会的意義があって存在しています。港運事業者は国内物流と国際物流の結節点として貿易の成り立ちを支えており、それだけでも大きく社会に貢献しているはずですが、しかし、だからと言ってやみくもな企業活動だけでは企業の存続はあり得ません。昨今では、環境、安全・健康、イノベーション、人権等への配慮がいっそう求められており、それらを包括する国際目標であるSDGs達成に向けた活動は必要不可欠です。世界的に広まるSDGsへの取り組みに加わることで、国際的なサプライチェーンの中で評価され、選ばれる企業として成長していくことに繋がると考えています。

日本港運協会ESG・SDGs対策委員会では、「地球にやさしい未来港湾の創出」をテーマとした話し合いを行っています。その中で、①脱炭素②安心安全・防災・感染症対策③技術革新④働きがい・人権等の4つを優先的に取り組む事項として定めており、具体的に港運事業者が何をしていくと良いのかを検討しています。

しかし、SDGsのゴール項目はいささか漠然としすぎており、自社との具体的な関連を見出しづらいかもかもしれません。そのような中、みなとSDGsパートナー登録制度は、ハードルが高すぎず、比較的容易に参加ができるため、SDGsについて考える良いきっかけになると思います。申請書類には、漠然としたSDGsゴール項目がより具体的な文言で記載されており、この申請書類の作成を進めていくだけで、自社とSDGsの関連性に気づくことが十分に可能です。

将来的には、みなとSDGsへの参加者が増え、官民一体となってSDGsへの取り組み推進を図っていく流れを構築することで、港湾関連企業が若者を含む社会にいっそう認知される存在になっていければと考えています。

神戸港振興倶楽部会員企業も登録いただいています！

(第一回登録企業)

- ・株式会社 大森廻漕店
- ・株式会社 上組
- ・商船港運株式会社
- ・株式会社 住友倉庫
- ・一般社団法人 全日検

- ・株式会社 辰巳商会
- ・三井倉庫株式会社(MSCグループ)
- ・三菱倉庫株式会社
- ・株式会社 ユニエックスNCT

(第二回登録企業)

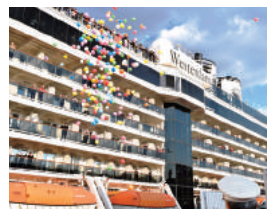
- ・山九株式会社
- ・澁澤倉庫株式会社
- ・日本紙運輸倉庫株式会社
- ・深田サルベージ建設株式会社
- ・日本ポート産業株式会社

神戸観光局港湾振興部では パートナー登録制度取得を目指して ワークショップを開催しました

神戸観光局 港湾振興部では、みなとSDGsへの申請に際し、ワークショップを開催しました。SDGs達成に繋がる既存事業の検討や、SDGs達成に繋がる新規事業や組織体制についての意見共有を実施。早期に実現可能なものから、夢のようなアイデアまで様々な意見の共有が実現しました。

SDGs達成に繋がる既存事業の存在に気づくと同時に、改めて事業を振り返るきっかけとなった今回のワークショップ。無事、みなとSDGsパートナーへの登録も叶いました。今後は職員から出された意見をもとに、SDGs達成に向けた事業創出を目指します。

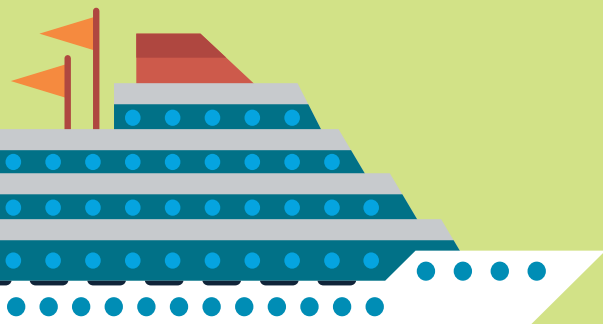
ワークショップでの気づき



クルーズ客船の入出港イベントの際に利用するバルーン。華やかに港を彩りません。神戸港では、環境に配慮した自然に還る素材のバルーンを使用。環境保護の観点や、再生資源利用の観点から、SDGs達成にダイレクトにつながるものと再認識しました。



神戸市内の小学生を対象に行っている「みなとの学習会」。船に乗って神戸港を巡り、船上で解説を行います。港の施設や船について子どもたちに伝え、海・船・港の仕事に興味を持ってもらうことを目的としています。現在、社会課題となっている「海事人材」減少の解決に向けた活動です。



2023年 春

インフォメーション

3年ぶりに海外のクルーズ船の入港が再開。
待ちわびていた多くの方々が港へ訪れ、
華やかな活気に包まれました。

SHIP INFORMATION AND SCHEDULE

クルーズ船の運航情報

神戸港での国際クルーズ受け入れ再開！

第1船として「DIAMOND PRINCESS」が入港しました！

新型コロナウイルスの影響で、港における入国規制を実施したことから、海外のクルーズ船が国内に入港できない状況となっていました。令和4年10月に政府の水際対策が緩和されたことを受け、神戸港では3月より3年ぶりとなる国際クルーズの受け入れを再開しました。

運航再開にあたって、国土交通省が監修したガイドラインに基づき安全対策が実施され、安心して楽しめる船旅が始まります。各船社の安全対策を確認し、検疫をはじめとする関係機関と連携しながら受け入れを再開しています。

神戸港では再開第1船目として、3月8日「DIAMOND PRINCESS」が入港し、神戸市消防艇による歓迎放水を受けながら着岸、多くの乗船客や乗組員が神戸を訪れました。ターミナルや市街地では、神戸での滞在を楽しんでもらおうと、おもてなしクルーによるサポートや日本文化を体験できるミニイベントも実施されました。出港時の神戸学院大学吹奏楽部による歓送演奏では、「Y.M.C.A.」の楽曲にあわせ、乗船客と見送りに来られた市民の方が一緒になって手を振りあい、一体感を感じる場面もありました。

入港を待ちわびておられた市民の方も多く、停泊中には外国客船を一目見ようと、たくさんの方がターミナルを訪れ、みなとまち神戸らしさが戻ってきたと感じさせられました。

4月以降もたくさんの客船が入港を予定しています。ぜひ神戸港へお越しください。



クルーズ客船入港予定（4月）



SILVER WHISPER



NAUTICA



PACIFIC WORLD **初入港**



SILVER MUSE **初入港**



WESTERDAM



SEVEN SEAS EXPLORER



AZAMARA QUEST



STAR BREEZE **初入港**



船名	総トン数	バース	入港	出港
SILVER WHISPER	28,258	NAKA-BC	4月1日(土) 7:00	4月1日(土) 18:00
NAUTICA	30,277	NAKA-BC	4月4日(火) 12:00	4月5日(水) 18:00
PACIFIC WORLD	77,441	S-4Q1	4月8日(土) 14:00	4月8日(土) 18:00
SILVER WHISPER	28,258	S-4Q1/Q2	4月11日(火) 7:00	4月11日(火) 18:00
SILVER MUSE	40,791	S-4O1/O2	4月12日(水) 7:00	4月12日(水) 23:00
WESTERDAM	82,862	S-4Q1/Q2	4月12日(水) 9:00	4月12日(水) 21:00
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	4月13日(木) 12:00	4月14日(金) 17:00
AZAMARA QUEST	30,277	S-4Q1/Q2	4月14日(金) 8:00	4月15日(土) 13:30
SILVER WHISPER	28,258	NAKA-BC	4月21日(金) 13:00	4月22日(土) 18:00
STAR BREEZE	12,969	NAKA-BC	4月26日(水) 6:00	4月26日(水) 20:00
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	4月27日(木) 11:00	4月28日(金) 18:00

神戸ポートターミナル：S-4Q1/Q2、S-4O1/O2

中突堤旅客ターミナル：NAKA-BC

※スケジュール・バース等は予告なく変更・追加されることがありますのでご注意ください。

※神戸港へのクルーズ客船の入港予定は、「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。➡



神戸港に入港したクルーズ船（12月～2月）

ありがとう「ばしふいっく びいなす」神戸港から最後の離岸

「ばしふいっく びいなす」

クルーズ客船「ばしふいっく びいなす」が営業運航を終了しました。24年の長きに亘って神戸でも広く愛された船です。

最後の入出港を大勢の人が見届けました。

2022年12月27日(火) ラストクルーズへ出航

大勢の「ばしびファン」や元クルーの方々が詰めかけ、神戸市消防音楽隊のファンファーレを合図に最終航海出航セレモニーが行われました。神戸港から記念品と花束が贈られ、松井克哉船長からはご挨拶がありました。

いよいよ出航が近づき、神戸の親善大使第17期スマイル神戸の谷口優月さんも笑顔で花を添えます。出航の時を告げる銅鑼と汽笛の響きと、打ち上げられたサプライズ花火に見送られ、ニューイヤークルーズへ向けて出港しました。

2023年1月4日(水) 最後の神戸港入港

ばしふいっく びいなす683回目の神戸港入港を出迎えようと、この日も大勢の方々が集まる中、神戸市消防艇からの歓迎放水がアーチを描き、新春らしく神戸市立須磨翔風高校和太鼓部のみなさんによる演奏が帰港を迎えました。

下船時にはクルーの皆さんが一齐に船からターミナル内へと移動して整列され、お客様おひとりおひとりと言葉を交わされていました。24年間の深さを感じる、笑顔と涙が印象的な瞬間でした。



2023年1月6日(金) さようなら、またいつか神戸港で

これまで何度も出航の場面に立ち会って演奏してくれた神戸市消防音楽隊が、この日も演奏を担います。コロナ禍で長らく控えられていたテープセレモニーも今日だけは特別に再開され、乗船のクルーから投げられた思いの詰まった色とりどりのテープが船と岸壁をつなぎました。

また、神戸港遊覧船「boh boh KOBE」号からは、最後の出航を海から見送る特別企画として実施された「お別れ見送りクルーズ」の参加者が旅立ちを見届けました。

出港の瞬間には汽笛と共にばしふいっく びいなすカラーの風船600個が空へと舞い上がり、「錨をあげて」が演奏され、いつも航行の安全を祈って振られていたUW旗が、大勢の方からひと際強く振られての、最終出航見送りとなりました。



「飛鳥Ⅱ」

「飛鳥Ⅱ」
公式ホームページ

<https://www.asukacruise.co.jp/>



2022年12月16日(金) “神戸スペシャルクリスマス ON ASUKAⅡ”

船上でのクリスマスをゆったりと過ごしていただく無寄港クルージングへと出港しました。出港時には、神戸市消防音楽隊によるクリスマスソングも演奏されました。

2022年12月18日(日) “神戸発 Xmas 神戸・名古屋クルーズ”

「神戸シンフォニックバンド」のサンタやトナカイの仮装がよりクリスマスクルーズを盛り上げ、クリスマスソングの流れる中、出港しました。夕暮れの中ライトアップされた飛鳥Ⅱが、ゆったりと優雅に出港しました。



「にっぽん丸」

「にっぽん丸」
公式ホームページ

<https://www.nipponmaru.jp/>



2023年2月17日(金) “にっぽん丸で航くしまなみ海道”

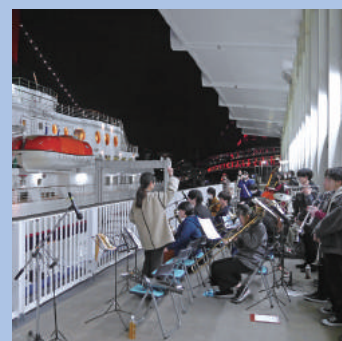
日に日に日の入りも遅くなり夕焼け空の中、瀬戸田に向け新港第4突堤から出港しました。博多までの片道クルーズです。

2023年2月21日(火) “神戸発着 河津ざくらと富士山クルーズ”

13時という昼間の出港は珍しく、一瞬雪が舞う寒い中でしたがデッキの皆様のUW旗に見送られ、下田に向け出港しました。桜と富士山、一足早く日本の春を満喫するクルーズです。

2023年2月24日(金) “美食の船旅 ～別府・日南～”

別府へ向け新港第4突堤から出港しました。船上で京料理を楽しんでいただくクルーズです。神戸大学UpSwingJazzOrchestra によるJazz演奏が流れる中、出港しました。



2023年2月27日(月) “にっぽん丸 瀬戸内Navigate”

18時30分、瀬戸内海に向け新港第4突堤を出港しました。2泊3日瀬戸内海を周遊するクルーズです。小さいお子さんが、力いっぱいUW旗を振って乗船されたおばあ様をお見送りされていました。



神戸港へのクルーズ客船の入港予定は

「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。



通関士



阿部 紗歩さん

株式会社大森廻漕店 阪神支店
通関部所属。

2020年4月に同社に入社。通関部に配属。社内研修の一環である通関士研修(社内での勉強会、資格学校での学習)を経て同年通関士資格を取得。

大森廻漕店は
150周年を迎えました

国内外の流通にかかわる やりがいを感じています

通関士の主な仕事は、輸出入者の代理人として、輸出入貨物に係る書類を元に、通関書類を作成し、税関へ輸出入申告を行うことです。中でも、商品にHSコードという「物に与えられた世界共通の『番号』」を振り分けるのが通関士ならではの仕事だと思います。

どのような貨物が輸出入されているのかを直接知りたいと思い、通関の仕事に就きました。この仕事は幅広い知識が必要とされ大変でもありますが、自分が日本国内外への流通の一端を担っていると思うとやりがいを感じます。また、過去の自分と比較して適正かつ迅速に輸出入許可まで辿り着けた時は成長を感じます。

今後も知識と経験を増やしていき、正確な通関手続きを行うよう努めます。



輸入書類と実行関税率表の照合は、日々の重要な仕事のひとつ

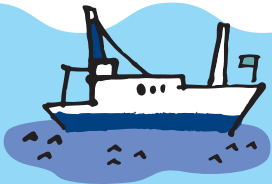
わたしの ご近所グルメ



「Bar&Bistro64」

神戸市中央区浪花町64番地

外観内観共におしゃれなお店で、ランチにはドリンクバーと焼きたてパンがつかます。オムレツは中がトロトロでとても口当たりが良く、冬限定のオマール海老ソースとも相性抜群で、あっという間に完食してしまいます。



港で働く人 03

神戸港で働くさまざまな人たちの仕事と、おすすめグルメを紹介

観光クルーズ船 船長・機関長



しょうへい
高井 頌平さん

神戸ベイクルーズ株式会社 海務部所属。

2017年5月に同社入社。ロイヤルプリンセス号に乗務する。現在は船長・機関長(執職)をこなすUTTプレイヤーとして活躍。

安全第一でお客様に 楽しい船旅を

神戸ベイクルーズは、神戸港～大阪湾を45分で周遊する遊覧船事業を行っています。

私の主な業務は、船長、機関長として船に乗船し、操船、乗組員への指示、機関発停、順視、船体設備の整備作業などがあります。

機関長職はエンジンや配管等に異常がある場合、部品の交換を行い、船長職は船の操船を行っていますが、天候が悪く、風や波が強い時は出航前に運航管理者と安全な運航ができるか相談を行っています。

両職共にお客様の安全な船旅を楽しんでいただけるよう、考えながら仕事をする、やりがいのある仕事です。

今後も安全第一で神戸港の遊覧船業を支えています。



機関室にて主機の点検・整備を行っている

わたしの ご近所グルメ



「定食の店 きよし」

神戸市中央区海岸通4-4-10

昭和の雰囲気が残るレトロ好きにはたまらないお店。コスパ最高のお食事処、お昼時間のみの営業です。





神戸空港は開港17周年を迎えました

2006年に開港した神戸空港は2023年2月16日で17周年を迎えました。それを記念し、2月18日(土)、19日(日)に神戸ハーバーランドumieで開催された17周年イベントでは、就航地物産・観光PRブースや各エアラインによるブース、ワークショップなどを実施し、お子さまから大人の方まで楽しんでいただき大盛況のうち終了しました。



17周年イベントの様子

「神戸-関西空ベイ・シャトル」の全便復便(10往復20便から16往復32便へ)

4月1日から 16 往復 32 便

神戸空港と関西国際空港を約30分で結ぶ高速船「神戸-関西空ベイ・シャトル」は、コロナ禍の運航休止リスクの回避等のため、減便運航を続けていましたが、水際措置の緩和等により旅行需要の回復も進んでいることから、4月1日(土曜)より、通常ダイヤとなる16往復32便にて運航いたします。

	神戸空港発	関西空港発		神戸空港発	関西空港発
1	5:30	6:30	9	14:00	14:45
2	6:30	7:15	10	15:30	16:30
3	7:15	8:00	11	17:00	18:00
4	8:00	9:00	12	18:00	19:00
5	9:00	10:00	13	19:00	20:00
6	10:00	11:00	14	20:00	21:00
7	11:00	12:00	15	21:00	22:00
8	12:30	13:15	16	22:45	0:00

「神戸-関西空ベイ・シャトル」チケットレス乗船システム(こうべKnotco(のっとこ))運用開始

「神戸-関西空ベイ・シャトル」において、インターネット予約時に携帯端末に送信されるQRコードまたは顔認証登録によりチケットレスで乗船(改札)が可能となりました。

予約はPC・スマートフォンから可能で、クレジットカードによる事前決済ができます。また、自動券売機および乗船窓口では、現金決済に加え、クレジットカード、ICカード、QRコードでの決済も可能になります。

また、顔認証登録を行うと、顔認証端末による乗船(改札)が可能になります。荷物が多く手がふさがっていても、マスクを着用したままでも、認証ゲートを通過し乗船できます。



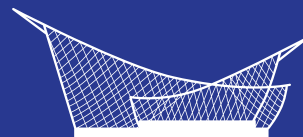
神戸空港では令和5年3月26日(日)から夏ダイヤの運行となっております。一部の便に変更がございますので、詳しくは神戸空港HPをご確認ください。



KOBE



神戸海洋博物館 & カワサキワールド だより



神戸海洋博物館

企画展「君も博士になれる展 empowered by 博士ちゃん in KOBE」が終了しました

神戸海洋博物館では、「君も博士になれる展 empowered by 博士ちゃん in KOBE」の開催が3月12日（日）をもって終了しました。毎週土曜日18時56分よりテレビ朝日系列にて放送中の「博士ちゃん」に登場した、大人顔負けの知識を持つ子どもの“博士ちゃん”にインスパイアを受けた企画展。

博士ちゃんノートの作成や多数の体験型アトラクションなどがあり、楽しみながら気づきや学びを起こす体験型のイベント。約6か月にわたる長期開催となり、たくさんの来館者の方々にお楽しみいただきました。神戸会場限定コンテンツでは「オリジナルはてなカード」や「博士ちゃん うおーたーかれっじ」もあり、子どもを中心に幅広い年齢層に好評を博しました。



5万人達成セレモニーの様子

企画展「第21回 帆船模型教室作品展」を開催しました

4月9日（日）まで、神戸帆船模型の会による「第21回 帆船模型教室作品展」を開催しました。受講者が約半年かけて作り上げた作品の「レンジャー」を展示。受講者と講師の作品を間近で観られる貴重な作品展となりました。公益財団法人日本海洋少年団連盟ほかが主催する絵画コンクール「我ら海の子展」も同時開催しました。

（※次回企画展は4月後半から開催を予定しています。）



カワサキワールドに映画登場車両展示

2022年12月20日～2023年1月22日、カワサキワールドでは、イタリアで開催されたミラノショーにも出展した映画登場車両を期間限定で展示しました。

日本では初の一般公開となり、量産仕様の車両もあわせて展示しました。



【展示車両】

- ・ GPZ900R (映画登場車両、量産仕様車両)
- ・ Ninja H2 CARBON (映画登場車両、量産仕様車両)

期間中はバイク好きのお客様やカメラを持ったお客様がご来館され、車両について質問を頂く、車両を様々な角度から撮影頂くなど、興味深くじっくりとご覧いただきました。

期間終了後は、再び元の車両展示（「Z」コーナー）を行います。また、モーターサイクルコーナーには他にもたくさんのお客様の展示がありますのでぜひご来館ください。



神戸海洋博物館 **カワサキワールド**
KOBÉ MARITIME MUSEUM **Kawasaki Good Times World**

- 開館時間 10：00～18：00（最終入館17：30まで）
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合翌平日）、年末・年始
- 交通 **【電車】** 市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分／JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分／神戸高速（阪急・山陽）「花隈駅」から徒歩約15分
【車】 山陽新幹線「新神戸駅」から約15分／阪神高速道路京橋ランプから約5分／ハーバーハイウェイ新港ランプから約5分（周辺に有料駐車場あり）

●入館料金

個人料金		一般団体	学校団体
		15名以上	
大人	900円	720円	高校生 300円
小人 (小・中・高)	400円	320円	小・中学生 150円

神戸港の灯台

西洋式灯台のはじまり

今回は、灯台をご紹介します。日頃、皆様がご覧になられている灯台は「西洋式灯台」です。日本の西洋式灯台は、徳川幕府が1866(慶応2)年に米、英、仏、蘭の4か国と結んだ改税約書(江戸条約)と兵庫開港に備え1867(慶応3)年に英国と結んだ大坂約定(大坂条約)によって設置された13基の「条約灯台」から始まります。

そもそも灯台の役割は、船舶の安全な航海を導く道標で、島や岬、岩礁、港の出入口等に設置されています。灯台の色や光り方(灯質)には様々な種類があって、同一視界内(見渡せる範囲内)には同じ灯質の灯台はありません。そのため、見えている灯台の灯質と船の概略の位置から見えている灯台が海図^(※1)や灯台表^(※2)から分かり、複数の灯台の見える方位をもとに船の現在位置を知ることができ、船が航海計画通りに進んでいるか、陸岸や岩礁などに接近していないかを確認することができます。灯台は夜間の光のみならず昼間でもその姿が目印になっています。

それでは神戸港の代表的な灯台を3基ご紹介します。

(※1) 海 図：航海で使用する地図のようなもの

(※2) 灯台表：灯台の位置(緯度経度)や灯質、高さ、光が届く(光達)距離などが記載されている書誌



日本初の西洋式灯台 初代「観音崎灯台」



神戸灯台

神戸灯台は、和田岬の西南西約1.7kmの遠矢浜(北緯34度38分54秒 東経135度10分05秒)に建つ灯台で、紀淡海峡(友ヶ島水道)を北上し、淡路島の洲本沖から神戸港に向かう船が針路の目標とする灯台です。

神戸灯台の歴史は古く、1872年10月1日(明治5年8月29日)に点灯した(初代)和田岬灯台が起源です。(初代)和田岬灯台はイギリス人技師リチャード・ヘンリー・ブラントンの技術指導により、民部省(民政事務を専管する明治初期の官庁)によって設置され

た木造八角形の灯台です。その後、1884(明治17)年3月1日に鉄造六角形の2代目(現在、須磨海岸で保存)に改築され、1963(昭和38)年10月15日には、現在の円形コンクリート造白色の神戸灯台に改築されています。

高さ29m(灯高26m)の神戸灯台から8秒毎に発せられる白色の(閃光)は15海里(約28km)先まで届き、今日も神戸港に向かう多くの船の安全な航海をサポートしています。



二代目「和田岬灯台」



現在の「神戸灯台」※

標 識 名 称	神戸灯台
所 在 地	兵庫県神戸市(和田岬の西南西方約1.7km)
点灯年月日	明治5年8月29日(1872年10月1日)
灯 質	単閃白光 毎8秒に1閃光(8秒毎に白色の短い光1回)
光 度	550,000 カンデラ
光 達 距 離	15.0 海里(約28km)
高さ(灯高)	26m(平均水面上から灯火まで)



神戸第一防波堤東灯台

神戸第一防波堤東灯台は、神戸港(阪神港神戸区)のポートアイランドの西側と和田岬の間に設置されている第一防波堤の東端に建つ白色の灯台で、1931(昭和6)年8月15日に点灯しました。現存する神戸港内の灯台の中では、神戸灯台に次いで二番目に古い灯台になります。

この灯台には「神戸港」と文字が描かれた看板が掲げられています。通常、灯台には文字を書いたり、看板を掲げることは法律で禁止されているため、全国でも例がないめずらしい灯台です。

この文字看板は、1964(昭和39)年から2年続きで台風による

高潮などで神戸港や市街が被害を受けたことを知った女性書道家 長浜 洸(ながはま あきら)さんが、港の安全を祈願して製作し神戸市に寄贈したもので、1967(昭和42)年に神戸開港百年記念事業として神戸市が第五管区海上保安本部長の許可を受け、外国航路の船が入出港する第一航路(当時)に面した第一防波堤東灯台に設置されました。

文字看板の大きさは縦1.9m×横1.7mあり、約3km先からでも読むことができます。夜間には灯台の下からライトアップされた「神戸港」の文字が、神戸市街の夜景を背景に際立っています。

標識名称	神戸第一防波堤東灯台
所在地	阪神港神戸区(第一防波堤東端)
点灯年月日	昭和6年8月15日(1931年8月15日)
灯質	単明暗緑光 毎8秒に明6秒暗2秒 (8秒毎に緑色が6秒光り、2秒消える)
光度	38カンデラ
光達距離	4.0海里(約7km)
高さ(灯高)	19m(平均水面上から灯火まで)



「神戸第一防波堤東灯台」※



神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台

神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台は、2代目の和田岬灯台を模した形状(高さ4.8mに縮小)の灯台で文字通り神戸メリケンパークオリエンタルホテルの14階に設置されています。同灯台は同ホテルの前身である神戸市生田区(現在、中央区)京町にあった(旧)神戸オリエンタルホテル屋上灯台として1964(昭和39)年8月26日に点灯しています。

(旧)神戸オリエンタルホテル屋上灯台は、中突堤から発着する四国・九州・沖縄などの航路の定期旅客船を運航していた関西汽船株式会社によって設置されました。それから、30年以上にわたって神戸港に入港する船を安全に誘導していましたが、1995(平成7)年1月17日に発生した阪神淡路大震災によって同ホテル

が被災し、同灯台も休止を余儀なくされました。その後、同灯台は既に移設が決まっていた同年7月開業の神戸メリケンパークオリエンタルホテル14階に移設され、新たに神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台として、1995(平成7)年7月7日午後7時7分7秒に被災した神戸の復興の新しいシンボルのひとつとして再点灯されました。

高さ54m(灯高)から10秒毎に交互に発せられる赤色と緑色の光(閃光)は赤色17.5海里(約32km)、緑色18.0海里(約33km)先まで届き、今も神戸港に入港する船を誘導しています。

この灯台の光は、夜になるとハーバーランドやポーアイしおさい公園などからも見えるのでご覧になられた方も多いことでしょう。

標識名称	神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台
所在地	兵庫県神戸市(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)
点灯年月日	昭和39年8月26日(1964年8月26日) 平成7年7月7日(1995年7月7日)再点灯
灯質	単閃赤緑互光 毎10秒に赤1閃光、緑1閃光 (10秒毎に赤色と緑色の短い光が交互に1回)
光度	赤色 48,000カンデラ 緑色 51,000カンデラ
光達距離	赤色 17.5海里(約32km) 緑色 18.0海里(約33km)
高さ(灯高)	54m(平均水面上から灯火まで)



「ホテル14階の灯台」※



「灯光を照射する灯台」※

資料提供：第五管区海上保安本部交通部

(※)印 画像提供：第五管区海上保安本部交通部、神戸海上保安部



神戸税関 二ぼれ話

令和4年 神戸港貿易概況

輸出、輸入、総額ともに**過去最高額!**

神戸港は、昔から天然の良港とされ、慶応3年12月7日(1868年1月1日)に兵庫港として開港しました。戦後、神戸港の貿易は、経済成長とともに輸出を中心に飛躍的な増加を示し、昭和42年に摩耶埠頭が竣工し、日本で初めてコンテナ船が入港、昭和56年にポートアイランド、平成4年には六甲アイランドが竣工し、神戸港は、世界有数のコンテナ取扱港に飛躍しました。震災を機に一時的に貨物量は減少しましたが、近年貿易額は増加で推移しており、最近では街と港を結ぶウォーターフロントの再開発も進められ、人が集う場所として神戸港に新たな賑わいを感じられるようになってきました。

今回は、そのような神戸港の令和4年の貿易概況についてまとめてみました。

令和4年神戸港貿易額

輸出 7兆 1,886億円 (対前年比 121.9%) **【過去最高額】**

輸入 4兆 8,685億円 (対前年比 135.8%) **【過去最高額】**

総額 12兆 571億円 (対前年比 127.2%) **【過去最高額】**

【差引】 2兆3,201億円の輸出超過

マメ知識
その1

全国の令和4年貿易額総額のうち、神戸港のシェアは5.6%で、全国の港別(開港)のうち5番目に大きいんだよ。

過去最高の対前年比は、輸出142.5%、輸入164.8%、総額149.9%で、いずれも平成8年(阪神淡路大震災の翌年)だよ。



神戸港で輸出入されている品目トップ10

	輸出品目	価額(億円)	構成比
1	建設用・鉱山用機械	5,062	7.0%
2	プラスチック	4,685	6.5%
3	無機化合物	3,808	5.3%
4	非鉄金属	3,293	4.6%
5	織物用糸及び繊維製品	3,096	4.3%
6	原動機	2,865	4.0%
7	精油・香料及び化粧品類	2,503	3.5%
8	有機化合物	2,332	3.2%
9	半導体等製造装置	2,183	3.0%
10	鉄鋼	1,939	2.7%

	輸入品目	価額(億円)	構成比
1	無機化合物	3,577	7.3%
2	衣類及び同附属品	3,447	7.1%
3	鉱物性燃料	2,553	5.2%
4	たばこ	2,304	4.7%
5	有機化合物	2,140	4.4%
6	非鉄金属	1,873	3.8%
7	医薬品	1,361	2.8%
8	プラスチック	1,312	2.7%
9	穀物及び同調製品	1,086	2.2%
10	果実	1,073	2.2%

マメ知識
その2

輸出入上位3品目は、簡単に言うと以下のようなモノが多いよ。

輸出は

「建設用・鉱山用機械」・・・油圧ショベルやブルドーザー

「プラスチック」・・・テレビやスマートフォンに使われるシートやフィルム

「無機化合物」・・・リチウムイオン電池の材料

輸入は

「無機化合物」・・・リチウムイオン電池の原料

「衣類及び同附属品」・・・各種衣料品

「鉱物性燃料」・・・石炭や石油ガス類



神戸港輸出入相手国(地域)トップ10

	輸出国(地域)	価額(億円)	構成比
1	中華人民共和国	15,878	22.1%
2	アメリカ合衆国	13,170	18.3%
3	台湾	4,096	5.7%
4	タイ	3,387	4.7%
5	大韓民国	3,200	4.5%
6	インドネシア	2,911	4.0%
7	ベトナム	2,664	3.7%
8	ドイツ	2,055	2.9%
9	オランダ	2,048	2.8%
10	インド	2,025	2.8%

	輸入国(地域)	価額(億円)	構成比
1	中華人民共和国	13,900	28.6%
2	アメリカ合衆国	4,090	8.4%
3	ベトナム	2,511	5.2%
4	オーストラリア	2,447	5.0%
5	インドネシア	2,096	4.3%
6	タイ	1,864	3.8%
7	ドイツ	1,828	3.8%
8	大韓民国	1,566	3.2%
9	台湾	1,546	3.2%
10	イタリア	1,401	2.9%

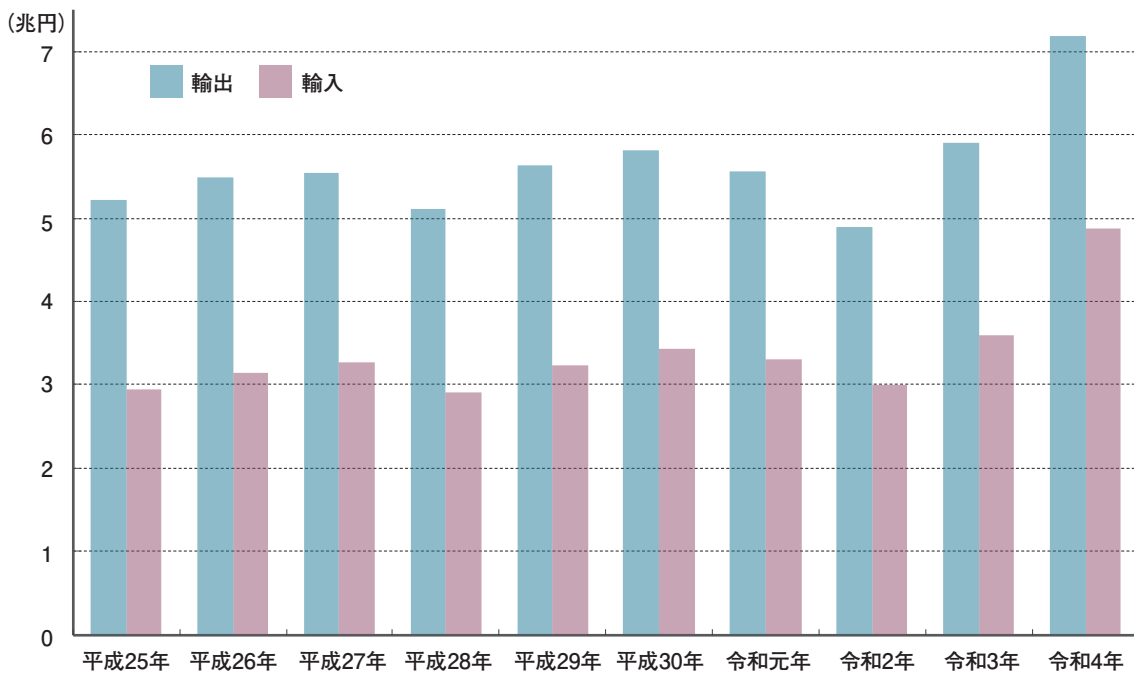
マメ知識 その3

輸出入どちらも1位は中国、2位は米国だけど、
ずっと不動なんだよ。
(輸出は平成15年、輸入は平成4年から)

「アレ」を目指す今年のタイガースにも、
不動の1、2番が出てくるとイイな・・・。



神戸港貿易額の推移



	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
輸出	52,165	54,858	55,508	51,101	56,317	58,198	55,571	49,017	58,960	71,886
輸入	29,475	31,416	32,662	29,008	32,356	34,385	33,103	30,033	35,862	48,685

(億円)

マメ知識 その4

貿易統計は、GDP、日銀短観などで利用されているほか、テレビや新聞でも数字が引用されていることも多く、重要な経済指標のひとつと捉えられているよ。

一見すると単なる数字に見えるけど、真剣に眺めてみると経済のトレンドが見えてくるかも？



神戸港の貿易額について
もっと詳しく知りたい方はコチラ！

HPアドレス

<https://www.customs.go.jp/kobe/>



